

受験番号：  
Office Use:



Form C-1

年 月 日

生命科学（脳科学）国際共同大学院（NGP）責任者殿

わたしは、NGPの趣旨にもとづき、学生が日本学術振興会特別研究員（DC）申請書を作成することを指導し、海外での長期特別研修などの活動を行うことを理解のうえ、以下の学生を推薦します。

推薦者1：指導教員所属 \_\_\_\_\_ 研究科 \_\_\_\_\_ 専攻・職名： \_\_\_\_\_

指導教員氏名 \_\_\_\_\_

※推薦者である指導教員がNGP参画教員でない場合、申請者および当該指導教員は、NGP教務委員または運営委員に連絡を取り、NGPの趣旨や採用後の注意事項等に関する説明を受けるとともに、申請者はNGP応募の動機や研究計画等について説明した上で、同委員から2人目の推薦者としての署名を得ること。

推薦者2：NGP教務委員あるいはNGP運営委員氏名 \_\_\_\_\_

## 推薦書 Recommendation Letter

研究科名	研究科	出願者	
専攻名	専攻	氏名	

\*本プログラムでは、延べ3か月程度、海外教育研究機関に滞在し共同研究を行う生命科学（脳科学）長期特別研修を含む、国際カリキュラムを実施します。その観点から、「出願者の国際的な視野や本プログラムに対する意欲」、「英語でのコミュニケーション能力」、「研究者としての将来性」について評価してください。また、当該学生の国際共同教育を行う連携先海外教育研究機関・教員（研究者）について記載してください。未定の場合、可能性を挙げてください。当該教員（研究者）とのこれまでの共同研究・打ち合わせの状況や、共同教育の実施方法についても、予定や可能性を可能な範囲で記載してください。

\*なお、最後に学生が博士課程後期課程に進学し、日本学術振興会特別研究員（DC）に申請する意思が明確であるかどうか、指導教員としての確認をお願いします。

【国際的な視野や本プログラムに対する意欲】

【研究者としての将来性】

【英語でのコミュニケーション能力】

【共同指導の実施計画・これまでの打ち合わせの状況】

(すでに連携先機関や共同指導教員が決まっている場合は、それについて具体的に記載してください。)

**\*MC学生のみ**

学生の進路について  
(後期課程への進学について)

確実に進学する意思があることを確認しているか？ (Yes・No )  
(YesかNoのどちらかに○をつけて下さい。)